

## ＜山西省写真展＞

埼玉県と中国山西省は、35年前に友好県省締結に関する「協定書」を結びました。35年前の山西省は、中華文明発祥の地として知られ、未開放地区も多くミステリアスな地区として大変人気がありました。その頃（昭和54年）「埼玉県青年の翼」の太原訪問「中日友好の船第25班」の埼玉県訪問そして、「埼玉県日中友好協会訪中団」の太原訪問により、山西省と友好県省の関係を結ぶことになりました。

以来35年の間には、県知事を始め県内各界の方々が山西省を訪れ、山西大学などへの留学生は1200人を超える若者が中国で学びました。山西省は、中国内でも緑化が遅れていたため、埼玉県・県日中などが緑化に取り組み大きな成果を残してきました。また、未就学児童の学校を作る、「希望工程」という事業にも各地区協会を中心に取り組み、奥地に学校を建設してきました。この様な様々な交流を通して、山西省の方々との深い友情を育んできました。

今回は、35周年の節目の年にあたり、双方の県省民に理解を深めて頂くため、「山西省写真展」「埼玉県写真展」を開催することに致しました。9月19日より1週間、世界遺産平遥古城に於いて「平遥国際写真大展」が開催され、メイン会場内「国際館」の中で「埼玉県写真展」を開催しました。連日多くの観客で溢れていたそうです。県協会より5名の役員が開幕式に参加しました。我々が開幕式に参加した時は、昼時で20名くらいの方々が熱心に写真に見入っていました。訪中団一行は、「国際大展」15,000人の盛大な開幕式でも、フランス・（イタリア・アメリカ・スペイン・）スリランカなどの国々と最前列で遇されました。中国滞在中は大変熱烈な歓迎を受けました。

「山西省写真展」は、10月28日より3日間浦和コミュニケーションセンター9階多目的ホールにて開催しました。山西省写真家協会の方々の名作50数点と協会訪中団員の写真など、更に興味深い貴重な資料も大変豊富に展示いたしました。山西省幹部6名が開幕式と翌日の「中国語発表のつどい」に参加され、交流を深めました。写真展には、ご多忙の上田県知事が30分間見学にお越しになり、熱心に係員の説明を聞きながらご覧になりました。



会場風景



幹部の皆様



団 長



協会側と訪日団顔合わせ



団長挨拶



テープカット

28日には、川越市の伝統的な日本料理の歓迎宴にて、訪日団員の皆さんと率直な意見交換を通じて友情を深めました。



川越 幸ずしにて歓迎会

この様に双方の県省民の相互理解のために行った「写真展」は、成功裏に終わりました。参加者の一部から、「写真展」のことを知らなかった。偶々来て素晴らしい写真が展示してあり、知人にも見せたかったので、「どうしたら事前に教えてもらえるのでしょうか？」との質問がありました。今後の課題として、より多くの方々にこの様な事業の告知を如何に効率的に行うかという課題を与えられた思いがしました。（文責橋本）